



教育目標
 ○秋から冬への季節の移り変わりの美しさや変化に気づいたり、遊びを工夫したりする。
 ○いろいろな材料を使い、試したり工夫したりしながらイメージした物を作りあげていく楽しさや満足感を味わう。

えいご参観

次の日程で「えいご参観」を行います。参観いただく保護者様は1名様とさせていただきます。(乳幼児を除く) スリッパをご持参ください。

	10:10~ 10:40	10:50~ 11:20	11:30~ 12:00	13:00~ 13:30
年少組 11月28日(火)	ゆり	すみれ	ばら	
年中組 11月14日(火)	はと	まつ	たけ	うめ
年長組 11月7日(火)	ほし	つき	にじ	ゆき



お願い

- ◎年中・年長組で、園服の追加注文を希望される方は、随時担任に申し出てください。
- ◎バス停での停車時刻を過ぎてもバス停にみえない時は、運行上時刻表通りに発車させていただきます。その際、バス乗車職員からの電話連絡はいたしかねます。余裕を持ってバス停への送迎をお願いします。
- ◎延長保育(パンダ組)の預かり時間は、15:30以降18:00までとなっております。15:30のお迎えが遅くなる時は、ご連絡いただき、パンダ組をご利用ください。また、パンダ組の18:00のお迎え時刻をお守りいただきますようお願いいたします。
- ◎ブレザーのポケットにハンカチ・ティッシュを毎日入れてきて下さい。



七五三

年長組の女の子と年少組の男の子は、11月16日(木)に皆で龍光寺にお参りし、境内で記念撮影をします。
 園児全員が、父母の会からいただいた「祈祷済みの千歳飴」を持ち帰ります。

「千歳(ちとせ)」という言葉には「千年」「長い年月」の意味があります。また、千歳飴の細長い形状や、引っ張るとどこまでも伸ばせる性質から「細く長く」「長寿」が連想され、千歳飴には「細く長く粘り強く、いつまでも健康で長生きしてほしい」という意味が込められています。
 千歳飴の起源は江戸時代にまでさかのぼるといわれています。当時は砂糖が貴重であったため、甘くて美味しい千歳飴は七五三の祝い菓子として大変喜ばれました。千歳飴の発祥については諸説あります。1つ目は、元禄・宝永期(1688~1711)に江戸・浅草の飴売り七兵衛(しちびょうえ)が、棒状で紅白の飴を「千年飴」と名付けて売り始めた説です。また、元和元年(1615)、大坂で商売をしていた平野甚右衛門(ひらのじんえもん)が、江戸へ出て浅草寺の境内で飴を売り出したのが始まりという説もあります。3つ目は、東京都千代田区にある神田明神の境内で売られていた「祝い飴」を起源とする説です。
 千歳飴の食べ方には諸説あるものの、特別な決まりはありません。千歳飴を切ると「縁起が悪いのでは」と考える方もいるかもしれませんが、食べやすく切り分けたり砕いたりしても大丈夫です。硬くて食べにくいときは電子レンジで少し温めると柔らかくなり、包丁で簡単に切れるようになります。(ネット情報より)

日	曜	行事予定	
1	水	13:00 降園 誕生会(年中)	○
2	木	ボーディ(カード作り)	○
3	金	文化の日	
4	土		
5	日		
6	月	ボーディ(ヨガ)	○
7	火	えいごスポーツ(年長) えいご参観(年長)	○
8	水	仏参	○
9	木		○
10	金		○
11	土		
12	日		
13	月		○
14	火	えいごスポーツ(年中・年少) えいご参観(年中)	○
15	水	13:00 降園 避難訓練	○
16	木	七五三	○
17	金	お茶の稽古(雪・虹)	○
18	土		
19	日		
20	月	お茶の稽古(月・星)	○
21	火	えいごスポーツ(年長) ボーディ(寄せ植え)	○
22	水	誕生会(年少)AM(年長)PM	○
23	木	勤労感謝の日	
24	金	身体測定(年長) 集金日	○
25	土		
26	日		
27	月	身体測定(年少)	○
28	火	えいごスポーツ(年中・年少) えいご参観(年少) 身体測定(年中)	○
29	水		○
30	木		○

防火への取組

火災を想定した避難訓練

11月9日から15日まで実施される秋季全国火災予防運動に合わせて、本園では、11月15日(水)に幼稚園内で火災が発生したことを想定した避難訓練を実施します。